

# ■ 概要書 ■

“ぼくたちの地球を守ろう” 小学生・中学生 ポスターコンクール入賞作品



高円宮賞 / 中学生部門

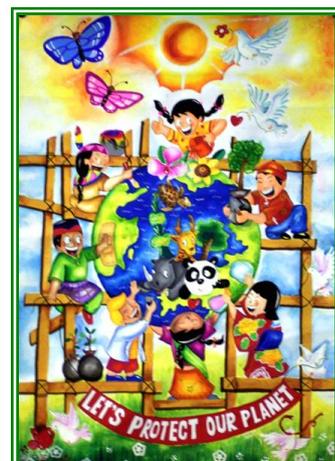
The Children of The Earth's Club  
NPO法人地球こどもクラブ

## 設立趣旨

現在、地球規模での環境破壊が急速に拡大しつつあり、この問題は21世紀の早い時期に、速やかに解決すべき最優先課題として、世界中で注目されています。

この解決には社会の第一線にある我々大人たちが率先して当たらねばならないことは言うまでもありませんが、同時に、次代を担う子供たちに対していかに環境保全の重要性を自発的に意識させるかが、我々大人たちの重大な責務であると言えます。

では、具体的にその教育をどのように行うか。近年、家庭・学校・社会において環境教育が積極的に取り入れられており、誠に喜ばしい限りです。さらに今後は、これらの地域枠を越え、子供たちの主体性を生かした国際的な活動の場を創造し、提供することが求められていくでしょう。



私共『地球こどもクラブ』は、“**ぼくたちの地球を守ろう**”をスローガンに、世界中のより多くの子供たちが、地球に住む一人としての自覚をもち美しき地球と人を愛する心を育むこと、そして手を携えて地球環境を守るために立ち上がることを支援する目的をもって、設立いたしました。ぜひ、当クラブの活動に対する皆様のご賛同を賜れますよう、お願い申し上げます。

## 団体概要

■名称	特定非営利活動法人地球こどもクラブ
■活動開始時期	1991年4月
■NPO法人認証日	2000年11月24日
■所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂7-6-15赤坂ロイヤルビル101号
■電話番号	03-5797-7293
■FAX番号	03-5563-9080
■E-MAIL	info.cearth27@c-earth.org
■URL	<a href="http://www.c-earth.org">http://www.c-earth.org</a>

## 役員名簿

敬称略、順不同

名誉会長	高村 正彦	前自民党副総裁
会 長	山東 昭子	参議院議員／参議院議長
副 会 長	加瀬 敏雄 丸尾 敏之 山田 五十一	株式会社ナリコー 代表取締役社長 有起商事株式会社 代表取締役 株式会社エイコー 代表取締役社長
専務理事	井田 敏夫	株式会社A Iグローバル会長
理 事	今井 絵理子 愛知 絢子 鈴木 隆道 アグネス・チャン 今井 通子 岡崎 友紀 東 てる美 由紀 さおり	参議院議員 アオイ産業株式会社 代表取締役 前東京都議会議員 歌手 株式会社ル・ベルソー 代表取締役社長 女優 女優 歌手・女優
監 事	平田 不可止	元テレビ朝日

### 【歴代名誉総裁】

1995年～2003年 高円宮憲仁親王殿下  
2003年～2010年 高円宮憲仁親王妃久子殿下

### 【歴代会長】

1994年～1998年 近藤 次郎／東京大学名誉教授 元日本学術会議会長  
1999年～2006年 石井 吉徳／東京大学名誉教授 もったいない学会会長  
2007年～2009年 長岡 喜法／前財団法人長岡育英会理事長

## 会員企業

順不同

株式会社キホー  
有起商事株式会社  
株式会社エイコー

株式会社ナリコー  
株式会社諸岡建設  
アオイ産業株式会社

# 事業内容

『地球こどもクラブ』は、国際交流を含めた環境教育事業を繰り広げます。

“ぼくたちの地球を守ろう”小学生・中学生作文及びポスターコンクールを中心として、「アジアこども会議」や「環境視察」・「環境学習」を実施することによりアジアでのネットワークを確立し、「国際交流活動」へと発展させます。

1

## “ぼくたちの地球を守ろう” 小学生・中学生作文・ポスターコンクール 及び授賞式の開催



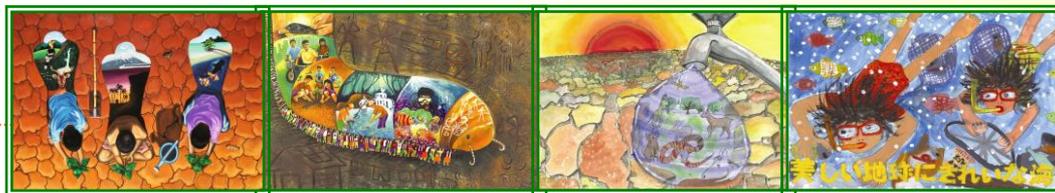
国内及びアジア地域の子供たちの環境問題に関する意識の向上を図り、その思いや意見を作文もしくはポスターとしてまとめ、より多くの人々に伝える貴重な機会として、毎年コンクールを開催します。また、コンクール入賞者を招請し、授賞式を開催します。

### 【主な賞】

◆高円宮賞（2010年度まで）◆内閣総理大臣賞◆外務大臣賞◆文部科学大臣賞◆環境大臣賞◆企業賞

主催：NPO法人地球こどもクラブ

後援：外務省・文部科学省・環境省・東京都・NHK・フジテレビ・テレビ朝日



2

## アジアこども会議

授賞式後、コンクール受賞者を中心に、子供たちによる環境国際会議を開催します。

環境に関する「テーマ」について討議し、その成果を「こどもアジェンダ21」としてまとめ、宣言書を環境大臣に提出します。



3

## 環境視察・環境学習

子供たちが環境について、楽しみながら学び、興味・関心を高めることのできるよう活動します。環境施設・企業の見学や“直接感じてもらう”自然体験学習を通して、一人ひとりが自発的に自然環境や生態系の重要性を考えます。



4

## 植樹活動

子供たちの地球緑化に関する意識を高め、自然を愛する豊かな心を育てることを目的として、富士山麓にある河口湖畔にて植樹活動を行いました。



5

## 広報活動

ホームページを通して、環境教育情報やアジアの交流情報を発信します。

また、ポスターコンクール入賞作品展などを開催し、より多くの方々に地球環境保全の大切さに気づいてもらえるよう努めます。



# 事業実績

## ① “ぼくたちの地球を守ろう” 小学生・中学生作文・ポスターコンクール及び授賞式の開催



実施日	実績(内容)	ご臨席者	備考
1991. 6	第1回作文コンクール		環境庁設立20周年記念事業として実施。
8	授賞式	愛知和男環境庁長官	
1992. 2	第2回作文コンクール		地球環境サミットを記念してブラジルの子供たち、世界の日本人学校へ募集
10	授賞式	木暮山人政務次官	
1993. 4	第3回作文コンクール		世界の日本人学校へ広く募集
11	授賞式	広中和歌子環境庁長官	
1994. 4	第4回作文コンクール		高田宮賞の新設 中国・韓国・海外日本人学校に募集
8	授賞式	高田宮殿下 宮下創平環境庁長官	
1995. 4	第5回作文コンクール		コンクール名誉総裁に高田宮殿下御就任
8	授賞式	高田宮両殿下 大島理森環境庁長官	
1996. 4	第6回作文コンクール		
8	授賞式	高田宮両殿下 岩垂寿喜男環境庁長官	
1997. 1	第7回作文コンクール		
	第1回ポスターコンクール		国内募集のみ
7	授賞式	高田宮両殿下 石井道子環境庁長官	
1998. 1	第8回作文コンクール		
	第2回ポスターコンクール		環境庁長官賞の新設、国内募集のみ
7	授賞式	高田宮両殿下 環境庁田中事務次官	
1999. 1	第9回作文コンクール		
	第3回ポスターコンクール		国内及び中国・韓国・インドネシア・タイ・インド・シンガポール・マレーシアへも募集
8	授賞式	高田宮両殿下 環境庁岡田事務次官	
2000. 1	第10回作文コンクール		
	第4回ポスターコンクール		

7	授賞式	高円宮両殿下 川口順子環境庁長官	
2001. 1	第11回作文コンクール		
	第5回ポスターコンクール		
7	授賞式	高円宮両殿下 風間昶環境省副大臣	
2002. 1	第12回作文コンクール		
	第6回ポスターコンクール		
7	授賞式(青森開催)	高円宮殿下 山田環境省大臣官房審議官	
2003. 1	第13回作文コンクール		コンクール名誉総裁に高円宮憲仁親王妃久子殿下御就任
	第7回ポスターコンクール		
8	授賞式(東京開催)	高円宮憲仁親王妃久子殿下 松本環境省総合環境政策局長	
2004. 1	第14回作文コンクール		
	第8回ポスターコンクール		
8	授賞式(東京開催)	高円宮憲仁親王妃久子殿下 田村環境省総合環境政策局長	
2005. 1	第15回作文コンクール		
	第9回ポスターコンクール		
7	授賞式(新潟開催)	高円宮憲仁親王妃久子殿下 渋谷環境省環境教育推進室長	
2006. 1	第16回作文コンクール		
	第10回ポスターコンクール		
7	授賞式(山梨開催)	高円宮憲仁親王妃久子殿下 田村環境省総合環境政策局長	
2007. 1	第17回作文コンクール		
	第11回ポスターコンクール		企業賞新設(東京電力賞・コスモ石油賞)
7	授賞式(東京開催)	高円宮憲仁親王妃久子殿下 田村環境省事務次官	
2008. 1	第18回作文コンクール		内閣総理大臣賞・外務大臣賞・文部科学大臣賞新設 企業賞(東京電力賞)
	第12回ポスターコンクール		
7	授賞式(東京開催)	大江外務省審議官、宍戸文部科学 省視学官、南川環境省官房長	
2009. 1	第19回作文コンクール		
	第13回ポスターコンクール		企業賞(東京電力賞)
7	授賞式(東京開催)	山本外務省審議官、梶山文部科学 省視学官、南川環境省大臣官房長	
2010. 1	第20回作文コンクール		
	第14回ポスターコンクール		企業賞(東京電力賞)
7	授賞式(東京開催)	大脇外務省審議官、山田文部科学 省学校教育官、南川環境省大臣官 房長	
2011. 1	第21回作文コンクール		コンクール名誉総裁に高村正彦衆議院議員就任
	第15回ポスターコンクール		
8	授賞式(東京開催)	南川環境省事務次官、大脇外務省 審議官、宮崎文部科学省視学官	
2012. 1	第22回作文コンクール		
	第16回ポスターコンクール		

8	授賞式(東京開催)	福島外務省国際協力局審議官、太田文部科学省初等中等局視学官、三好環境省大臣官房審議官	
2013. 1	第 23 回作文コンクール		
	第 17 回ポスターコンクール		
8.	授賞式(東京開催)	高村正彦名誉会長、香川外務省地球規模課題審議官、清原文部科学省初等中等局視学官、上田環境省総合環境政策局総務課長	
2014.1	第 24 回作文コンクール		
	第 18 回ポスターコンクール		
8	授賞式(東京開催)	山東昭子会長、尾池外務省地球規模課題審議官、清原文部科学省初等中等局主任視学官、中井環境省大臣官房審議官	
2015.1	第 25 回作文コンクール		
	第 19 回ポスターコンクール		
8	授賞式(東京開催) 会場:参議院議員会館	山東昭子会長、水越外務省国際協力局参事官、濱野文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、深見環境省大臣官房審議官	
2016.1	第 26 回作文コンクール		
	第 20 回ポスターコンクール		
8.	授賞式(東京開催) 会場:参議院議員会館	山東昭子会長、今井絵理子理事、牛尾外務省国際協力局参事官、湯川文部科学省初等中等教育局視学官、正田環境省大臣官房審議官	
2017.1	第 27 回作文コンクール		
	第 21 回ポスターコンクール		
8.	授賞式(東京開催) 会場:参議院議員会館	山東昭子会長、塚田外務省国際協力局参事官、大滝文部科学省初等中等教育局視学官、米谷環境省大臣官房審議官	
2018.1	第 28 回作文コンクール		
	第 22 回ポスターコンクール		
8.	授賞式(東京開催) 会場:参議院議員会館	山東昭子会長、桑原外務省国際協力局審議官、小栗文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、近藤環境省大臣官房審議官	
2019.1	第 29 回作文コンクール		
	第 23 回ポスターコンクール		

8.	今井絵理子理事、紀谷外務省国際協力局参事官、藤野文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、上田環境省大臣官房審議官
----	---

## 応募数一覧表

開催年度	応募総数	応募数						参加国数	参加国
		作文			ポスター				
		国内	海外	合計	国内	海外	合計		
第1回 (1991年)	3,320	3,320	-	3,320	-	-	-	1	国内のみ
第2回 (1992年)	3,571	3,571	-	3,571	-	-	-	2	ブラジル、日本
第3回 (1993年)	3,733	3,733	-	3,733	-	-	-	1	日本(海外日本人学校)
第4回 (1994年)	3,782	3,684	98	3,782	-	-	-	3	日本、中国、韓国
第5回 (1995年)	3,920	3,717	203	3,920	-	-	-	4	日本、中国、韓国、インドネシア
第6回 (1996年)	4,156	3,873	283	4,156	-	-	-	5	日本、中国、韓国、インドネシア、タイ
第7回・第1回 (1997年)	4,914	4,117	272	4,389	525	-	525	6	日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、インド
第8回・第2回 (1998年)	5,678	4,106	404	4,510	1,168	-	1,168	7	日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、インド、シンガポール
第9回・第3回 (1999年)	6,350	3,910	721	4,631	1,296	423	1,719	8	日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、インド、シンガポール、マレーシア
第10回・第4回 (2000年)	4,055	1,797	877	2,674	651	730	1,381	9	日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、インド、シンガポール、マレーシア、フィリピン
第11回・第5回 (2001年)	2,933	544	1,087	1,631	652	650	1,302	9	日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、インド、シンガポール、マレーシア、フィリピン
第12回・第6回 (2002年)	3,186	1,148	780	1,928	643	615	1,258	9	日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、インド、シンガポール、マレーシア、フィリピン
第13回・第7回 (2003年)	1,400	553	145	698	511	191	702	3	日本、中国、韓国
第14回・第8回 (2004年)	2,867	754	706	1,460	420	987	1,407	6	日本、中国、韓国、タイ、マレーシア、インドネシア
第15回・第9回 (2005年)	2,289	791	471	1,262	456	571	1,027	5	中国、韓国、タイ、マレーシア
第16回・第10回 (2006年)	2,531	935	512	1,447	381	703	1,084	11	日本、中国、韓国、タイ、シンガポール、インドネシア、インド、マレーシア、フィリピン、フィジー諸島、ガラパゴス諸島
第17回・第11回 (2007年)	2,447	529	693	1,222	383	842	1,225	9	中国、韓国、タイ、マレーシア、ベトナム、カンボジア、シンガポール、モンゴル
第18回・第12回 (2008年)	3,904	1,331	1,121	2,452	307	1,145	1,452	6	日本、中国、韓国、タイ、インド、シンガポール
第19回・第13回 (2009年)	3,473	1,865	606	2,471	407	595	1,002	7	日本、中国、韓国、タイ、インド、シンガポール、マレーシア
第20回・第14回 (2010年)	2,654	507	-	507	144	2,003	2,147	8	日本、中国、韓国、タイ、インド、シンガポール、マレーシア、ロシア
第21回・第15回 (2011年)	2,328	1,017	-	1,017	361	1,311	1,672	4	日本、韓国、インド、アルメニア
第22回・第16回 (2012年)	3,712	1,565	-	1,565	1,245	902	2,147	3	日本、中国、韓国
第23回・第17回 (2013年)	3,246	1,783	-	1,783	1,221	242	1,463	2	日本、韓国

第24回・第18回 (2014年)	2,234	1,397	-	1,397	792	45	837	2	日本、韓国
第25回・第19回 (2015年)	1,921	1,341	-	1,341	535	45	580	2	日本、韓国
第26回・第20回 (2016年)	2,249	1,397	-	1,397	792	60	852	2	日本、韓国
第27回・第21回 (2017年)	2,072	1,272	-	1,272	782	18	800	2	日本、韓国
第28回・第22回 (2018年)	2,135	1,369	-	1,369	740	26	766	2	日本、韓国
第29回・第23回 (2019年)	2,292	2,247	-	2,247	863	45	908	2	日本、韓国
合計	93,352	58,173	8,979	67,179	14,740	12,149	27,424		計 16ヶ国

## ② アジア子ども会議★子どもアジェンダ21宣言



実施日	実績(内容)
1994. 8	第1回アジア子ども会議
1995. 8	第2回アジア子ども会議
1996. 8	第3回アジア子ども会議
1997. 7	第4回アジア子ども会議 テーマ:水と空気・ゴミ問題、動・植物との共存
1998. 7	第5回アジア子ども会議 テーマ:ゴミとリサイクル
1999. 8	第6回アジア子ども会議 テーマ:私たちの身近で考える地球環境問題 ★見直そう!私たちの生活 始めよう!環境に優しい事
2000. 7	第7回アジア子ども会議 テーマ:身近なところから環境問題を考えよう ★私からはじめよう!元気な地球をとりもどすため大人もちゃんとじかくをもって協力しましょう
2001. 7	第8回アジア子ども会議 テーマ:ゴミ問題と今、私たちに出来ること ★すべての命が環になってくらせる地球をつくろう。みんなでクリーンチャトルをつくってゴミを減らそう

2002. 7	<p>第9回アジア子ども会議</p> <p>テーマ:ゴミの減量と再利用</p> <p>★モノにも命がある。最後のゴミとなるまで工夫し、考え、再利用しよう。一人ひとり一日一日心がけていこう。地球の笑顔は私の笑顔</p>
2003. 8	<p>第10回アジア子ども会議</p> <p>テーマ:各国・各地域の環境破壊及び環境保護の違いについて</p> <p>★不便を楽しんで小さなことから地球に恩返しをしていこう。地球を大切にすることは命を大切にすることそれは自分の幸せにつながる・・・空はもっと青く水はもっと清く</p>
2004. 8	<p>第11回アジア子ども会議</p> <p>テーマ:生物多様性を守るために私たちにできること</p> <p>★多様ないのちを守り育む人の輪を私たちの手で!</p>
2005. 7	<p>第12回アジア子ども会議</p> <p>テーマ:楽しく住むってどんなこと?「家庭で」「地域で」「地球で」</p> <p>★私たちは、全体の一部なので、お互いが尊重し合い共に分かち合い環境を守るのが永遠の義務である。</p>
2006. 7	<p>第13回アジア子ども会議/司会進行:野口健氏</p> <p>テーマ:富士山から環境を考える身近な環境問題</p> <p>★私たちは、行動することによってゴミのない地球を目指します。</p>
2007. 7	<p>第14回アジア子ども会議/司会進行:上智大学 荒川祐二氏、東京農工大学 石川世太氏</p> <p>テーマ:あなたがお父さんお母さんになった時、どんな地球であってほしいか?その理想の地球のためにあなたができることは何か?</p> <p>★私の笑顔はみんなの笑顔。みんなの笑顔は地球の笑顔。みんなの笑顔で地球を救おう!</p>
2008. 7	<p>第15回アジア子ども会議/司会進行:NPO 法人神戸国際ハーモニーアイズ協会 瀬川映太氏</p> <p>テーマ:みんな繋がっている～身近な環境問題と私と世界～</p> <p>★未来の地球のために、自分から小さなことをはじめるヒーローになります!</p>
2009. 7	<p>第16回アジア子ども会議/司会進行:インパクトジャパン株式会社 吉村啓邦氏</p> <p>テーマ:ぼくたちの地球を守るために必要なこと</p> <p>★私たちは、これからも積極的に地球環境保全に努めます。</p>
2010. 8	<p>第17回アジア子ども会議/司会進行:株式会社ユーグレナ 取締役 永田暁彦氏</p> <p>テーマ:生物多様性を守る「ぼくたちにできること」</p> <p>★私たちの手でクリーンでグリーンな環境を</p>
2011. 8	<p>第18回アジア子ども会議/司会進行:環境省 廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室室長補佐 沼田正樹氏</p> <p>テーマ:3R-リデュース・リユース・リサイクル</p> <p>★マイバックと詰めかえ商品で、ごみを捨てない時代へ</p>
2012. 8	<p>第19回アジア子ども会議/司会進行:環境省 環境教育推進室室長補佐 井上直己氏</p> <p>テーマ:節電</p> <p>★家族団らんで3C・・・CoolDown communication CleanEarth</p>
2013. 8	<p>第20回アジア子ども会議/司会進行:環境省 自然環境局室長補佐 東岡礼治氏</p> <p>テーマ:身近に取り組んでいるエコ活動</p> <p>★身近な所からECO活動～太陽は蛍光灯が嫌いです～</p>
2014. 8	<p>第21回アジア子ども会議/司会進行:環境省 環境教育推進室室長補佐 山口和宏氏</p> <p>テーマ:水</p> <p>★節水すれば いろいろ節約 水は地球のたから物</p>
2015. 8	<p>第22回アジア子ども会議/司会進行:環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 瀧田祐介氏</p> <p>テーマ:地球温暖化</p> <p>★再生可能エネルギーで今を保てる世界を築こう</p>
2016. 8	<p>第23回アジア子ども会議/司会進行:環境省 大臣官房廃棄物 リサイクル推進室室長補佐 鈴木弘幸氏</p> <p>テーマ:大切な資源</p> <p>★地球の緑は心の緑 限られた資源を有効に使おう!</p>
2017. 8	<p>第24回アジア子ども会議/司会進行:環境省 大臣官房廃棄物 リサイクル推進室室長補佐 高林 祐也氏</p>

2018.8	<p>テーマ:「もったいない」を実行しよう</p> <p>★「もったいない」その一言で世界が笑顔に変わる</p> <p>第25回アジアこども会議／司会進行:環境省 環境教育推進室室長補佐 田代浩一氏</p>
	<p>テーマ:大気汚染</p>
2019.8	<p>★一人ひとりの活動に国境はない。「大気汚染」に対する取り組み</p> <p>第26回アジアこども会議／司会進行:環境省 環境教育推進室室長補佐 田中道雄氏</p> <p>テーマ:3R</p> <p>★私たちの3つの勇気 もらわない勇気 伝える勇気 がまんする勇気</p>

### ③ 環境視察・環境学習



実施日	実績(内容)
1992.10	「電力館」「東京都庁」等視察
1994. 3	「再建された縄文式竪穴住居に一泊生活体験」(協力:宮城県一迫町教育委員会)
1996. 8	「清掃工場・リサイクルセンター」視察
1997. 7	「清掃工場・水の科学館」視察
1998. 7	「有明清掃工場」視察
1999. 8	「ガスの科学館」視察
2000. 7	「東京ガス・横浜火力発電所」視察
2001. 7	「再生紙工場・ホクシー東京工場」を視察
2002. 7	「三内丸山遺跡・ラッセランド」視察
2003. 8	「渋谷電力館」視察
2004. 8	「葛西臨海水族園」「上野動物園」視察
2005. 7	「ビュー福島潟」視察
2006. 7	「山梨県環境科学研究所」視察、富士山裾野の清掃(協力:野口健環境学校)
2007. 4	「山梨県環境科学研究所」視察
2007. 7	海岸清掃(共催:ウミガメ倶楽部)／千葉県鴨川市前原海岸 「さかなクン」講演会／千葉県鴨川市民会館 テーマ「学校では教えてくれない海のこと、魚のこと、環境のこと」
2008. 7	ネイチャーゲーム(共催:NPO 法人神戸国際ハーモニーアイズ協会／ドキュメンタリー映像 Web サイト Wajju) 東京都清澄庭園・清澄公園
2009. 7	「電力館」「東京シティービュー」視察
2010. 8	ユウグレナ(和名ミドリムシ)を含む微生物の観察／東京大学本郷キャンパス内、ユウグレナ社研究所
2011. 8	EV 電気自動車の体験試乗／東京都港区 講師:EV 安全協会山下代表

2012. 8	テレビ朝日本社で取り組んでいる節電対策の見学／東京都港区テレビ朝日本社／講師:テレビ朝日総務部
2013. 8	国会議事堂内で取り組んでいるエコ活動・科学技術館見学
2014. 8	有明水再生センターを見学「水環境を守るため私たちに出来ること」
2015. 8	新江東清掃工場見学
2016. 8	江戸東京博物館
2017. 8	ガスの科学館
2018. 8	国立科学博物館
2019. 8	科学技術館

## ④ 植樹活動



実施日	実 績 (内 容)
2006. 7	第1回植樹祭／河口湖美術館敷地内 協力:富士河口湖町、(社)富士自然動物園協会
2007. 4	第2回植樹祭／長崎山桜公園、自然体験学習／山梨県環境科学研究所 【後援】富士河口湖町、(社)富士自然動物園協会 【助成】(財)長岡育英会、(社)国土緑化推進機構
2008. 11	第3回植樹祭／長崎山さくらの里公園、自然体験学習／山梨県環境科学研究所 【後援】山梨県、富士河口湖町、(社)富士自然動物園協会 【協賛】(財)長岡育英会、セブン-イレブンみどりの基金、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行
2009. 11	第4回植樹祭／奥河口湖さくらの里公園、自然体験学習／富士ビジターセンター 【後援】山梨県、富士河口湖町、(社)富士自然動物園協会 【協賛】(財)長岡育英会
2010. 11	第5回植樹祭／奥河口湖さくらの里公園、自然体験学習／山梨県環境科学研究所 【後援】山梨県、富士河口湖町、(社)富士自然文化協会 【協賛】(財)長岡育英会【助成】一般財団法人セブン-イレブン記念財団
2011. 11	第6回植樹祭／奥河口湖さくらの里公園、自然体験学習／山梨県環境科学研究所 【後援】山梨県、富士河口湖町、(社)富士自然文化協会 【協賛】(財)長岡育英会
2012.10	第7回植樹祭／奥河口湖さくらの里公園、自然体験学習／山梨県環境科学研究所 【主催】(社)富士自然文化協会 【協力】山梨県、富士河口湖町、NPO法人地球こどもクラブ

## ⑤ 広報活動



実施日	実績(内容)
1992. 6	地球環境サミットエコブラジル'92「国際環境技術博覧会」見本市場に第1回環境庁長官賞の作品がパネル展示で紹介
1993. 1	「地球子どもクラブ通信」創刊
1995. 1	「受賞作文集」発行(第1~4回コンクール全受賞作文掲載)
1996. 9	「地球子どもクラブ通信」(タブロイド版)新装刊
1997. 4	「地球子どもクラブ通信」第2号発行
9	「地球子どもクラブ通信」第3号発行
1998. 9	「地球子どもクラブ通信」第4号発行
1999.12	「地球子どもクラブ通信」第5号発行 JR東日本との提携で『エコトレイン』(京浜東北線)を走らせる<1999.12/15~1/14>
2000.11	「特定非営利活動法人地球子どもクラブ」として認可 「地球子どもクラブ通信」第6号発行
2001. 9	「地球子どもクラブ通信」第7号発行
2002. 9	「地球子どもクラブ通信」第8号発行
2003. 5	「2003NEW環境展」に出展。高円宮殿下・妃殿下の写真展及び過去の入賞作品の展示
2005. 7	地球子どもクラブチャリティーコンサート 会場:長岡市立劇場 出演者:由紀さおり 森ミドリ 江森陽弘 内海桂子 東てる美
2006. 6	「エコライフフェア 2006」に出展。高円宮殿下・妃殿下の写真展及び過去の入賞作品の展示

2006. 7	地球子どもクラブ環境コンサート 会場:河口湖ステラシアター 出演者:由紀さおり 小椋佳 森ミドリ 江森陽弘 内海桂子 東てる美
2006. 8	「地球子どもクラブ通信」8月1日号発行
2006.11	「地球子どもクラブ通信」11月10日号発行
2007. 2	「地球子どもクラブ通信」2007年第1号発行
2007.11	「地球子どもクラブ通信」2007年11月30日号発行
2008. 5	「ポスター展」開催 会場:環境大臣会合 in 神戸プレスセンター内
2009. 3	朝日小学生新聞にてコンクール募集告知広告掲載
2009. 4	朝日小学生新聞にてコンクール募集告知広告掲載
2010. 1	朝日小学生新聞にてコンクール募集告知広告掲載
2011. 1.2.3	朝日小学生新聞にてコンクール募集告知広告掲載
2011.8	韓国の国民日報、ヘラルド経済新聞、少年韓国日報にて入賞作品が掲載
〃	朝日新聞教育欄にて、福島県入賞者の作品が掲載
2011.12	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(4作品)
2012.1	朝日小学生新聞にてコンクール募集告知広告掲載
2012.4	ライオンズクラブ主催のチャリティコンサート in 神戸にて地球子どもクラブポスター展 概要書・募集告知1000部配付 場所:神戸ポートピアホテル 出演:小椋佳 他
〃	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(1作品)
2012.5	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(1作品)
2012.8	第11回ロータリー日韓親善会議にて地球子どもクラブ日韓ポスター展 概要書1000部配付 場所:グランドプリンスホテル新高輪
2013.1.2	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(1作品)
2013.5	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(4作品)
2014.4	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(7作品) 中学生国語教材(明治図書)2011年中学生ポスター部門内閣総理大臣賞掲載
2015.4	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(7作品)
.8	TBS「あさチャン！」に出演(入賞者)
2016.3	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(3作品)
2017.7.8.9.	ラジオ日本放送「みんなの作文」にて紹介・入賞作品の朗読(5作品)
2018・8.10	静岡新聞朝刊 授賞式掲載
2019.8.27	南日本新聞 内閣総理大臣賞ポスター部門 掲載

◆高田宮賞

兵庫県姫路市立網干小学校六年生

二校 弘典くん

『ジャコウアゲハが教えてくれたこと』※原文一部抜粋

ぼくは、揖保川のそばに住んでいる。揖保川の土手は、四季によって、様々な感じ方ができる。

この四季折々の中で、特に気に入っている揖保川の自然は、夏に何百匹ものジャコウアゲハが土手の道を飛び交い、まるで黒いトンネルをくぐっているような不思議な気持ちになれたことだ。

しかし、この状況は一変した。三年前に、川の工事で土手の半分が掘り返されてしまいジャコウアゲハの食料のウマノスズクサの生息地も破壊されてしまった。ぼくは、父と姉でウマノスズクサの移植とジャコウアゲハのサナギの避難をさせたり、ジャコウアゲハの保護をみんなに訴えた。しかし、ぼくたちだけでの活動だけでは、限界があり大きな効果は得られず、ジャコウアゲハは、このほか激滅してしまった。

ぼくが、非常に悔しく残念に思うのは、地域の人は、ジャコウアゲハの激滅に気づいているが、あまり気にとめていないことやジャコウアゲハの生態や市蝶だということ知らない人が多いようだ。だからもっと、もっとあのときに訴えればよかったということだ。

たかが蝶の一種や二種ぐらい消えたとって人間の生活には何の不便もない。生態系もそれほど変わらない。しかし、自分たちの周りの環境をみんながきちんと知って、どんな小さなことでも環境について良いことを実行する。こういう気持ちで環境を守ることだと思おう。この気持ちがないと、ジャコウアゲハだけでなく他の生物まで、激滅や絶滅の危機にあうだろう。そして、自然を失った人間もやがて絶滅するという結末が見えてくる。

人間は、生態系の中の食物連鎖を自分たちの都合で切ってしまう。その結果多くの生物を絶滅に追いやった。だから、今一度その鎖をつなぎ直して、自分もその鎖でつながる一員だという自覚を持って行動すべきだ。

だからぼくは、今日もジャコウアゲハのパトロールに出かける。再び、黒いトンネルを通れることを祈って。

◆高田宮賞

福島県須賀川市立西袋中学校三年生

星 結衣さん

『ホタル舞つる里に』※原文一部抜粋

昨年、会津若松市のホタルの森公園に行った。夜、たくさんのホタルが乱舞するのを見て心を奪われた。しかし、このような光景は、数十年前の日本各地で普通に見られた光景だと聞いて驚いた。ホタルは日本人の心のふる里だと言ってもいい。童謡で「ほう、ほう。ホタルこい。」と歌われ続けてきたが、現在を生きている私たちにとってそれは、決して身近な光景ではない。ホタルたちはいったいどこに行ってしまったのだろう。

ホタルといえば、長野県で自然農法に取り組まれる方から、こんな話を聞いたことがある。その男性は、自分の田んぼにホタルがいなくなったことに気づいてはいたが、それも時の流れの中では、仕方がないことだろうと諦めていたそうだった。ところが、ある年突如としてホタルが田んぼに戻ってきたのである。驚いた彼は、その理由を調べてみた。秘密はクレンソンを植えたのだ。そのクレンソンを餌とする巻き貝「カワニナ」が住み着くようになっていた。そして、そのカワニナを餌にするホタルが戻ってきたのである。

小さい頃、祖母に

「汚くしていると虫が湧く。」

と言われたが私には「湧く」という言葉の意味が理解できなかった。しかし、「湧く」力を自然は持っているのだ。今まで、生命の営みの感じられなかった用水から、見事にホタルが湧いたのである。美しい自然を取り戻そうとして大きなことをした訳ではない。以前の環境に向けて、ちょっとだけ時計の針を巻き戻しただけなのだ。その結果、自然は生命を呼び戻すことが出来たのである。自然保護が叫ばれる今、私たちは自分のできることから始めればいいのだ。自然は太古からそのあり方を変えてはいないのだから。私たちが自然と歩み寄り共生する生活を考え、ちょっと自然に寄り添えばいい。ホタルの復活は、観光や経済のためではない。私たちの命が連鎖によってのみ繋がることを知るために大切なことなのだ。

今年もホタルが乱舞する光景を見に行こうと思う。そして、私が自然との共生のため何ができるのかを考えてみたい。ホタルの光は、自然や生き物との共生にとって希望の灯火であるのだから。